「くさかみ」

～高丘中学校通信～　　令和5(2023)年 3月1日　第１１号

高丘中学校で過ごした誇りを胸に大きくはばたいてください

くさかみの桜の木のつぼみが少しずつ膨（ふく）らんできています。校内のあちこちで春の訪れを感じるようになって来ました。

新型コロナウイルス感染症、インフルエンザの感染者数が減少傾向にある中ですが、学校内での感染者の拡大を防止する観点から、引き続き「換気」「黙食」「手洗い」などの感染予防対策を継続してまいります。

さて、本校７６回生である３年生（１６４名）は８日に卒業証書授与式を迎えます。共に過ごした仲間との学びを終え、それぞれの道を歩むことになります。３年間の中学校及び９年間の義務教育の間に身長・体重などの成長だけでなく、思考力や判断力、表現力などの内面的成長も見られ、「自律」への道を歩んでいます。既に一足早く進路を決めた生徒もいますが、クラスのみんなが進路を確定させるまで緊張感を保とうと努めてくれている皆さんがいると聞いて着実に成長してくれているとうれしく思っています。

これから皆さんが歩む道は決して平たんな道ばかりではないかもしれません。予想外のことが起こったり、自分一人では解決できないような問題に遭遇（そうぐう）することもあるかもしれません。傷つき、悩み、苦しむことも成長の過程で必要です。自分への厳しさと同時に他の人への優しさを併せ持って欲しいと願います。

中館１階のローカに、「こころを育てる魔法の言葉」（文：中井俊已。発行所：㈱汐文社）という本が置いてあります。この本の中に「いい笑顔がいい言葉を生みます」という言葉が載っていました。さらに、笑顔なら、「はい」と素直に言えます。笑顔なら、「がんばります！」と前向きに言えます。笑顔なら「ごめんなさい」と反省できます。笑顔なら、「よかったね」と喜びあえます。笑顔なら「ありがとう」と明るく言えます。

いい笑顔がいい言葉を生みます。いい言葉がいい笑顔を生みます。と続いています。いつも笑顔で「おはようございます」などのあいさつをしてくれていた皆さん。７６回生の皆さんの前途に多くの幸あれと強く願います。

１・２年生の皆さんもこれからの中学校生活をどう過ごしていくのかを改めて見つめ直す機会としてください。

最後に、保護者の皆様、地域の方々、４月より様々な面でご理解とご協力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。一年間、本当にありがとうございました。

今後も子どもたちが「笑顔」で「生き生き」とした学校生活が送れるよう努めてまいります。引き続きご支援、ご協力の程よろしくお願いいたします。

3月の行事予定

２日（木）３年生を送る会
８日（水）第76回卒業証書授与式
１４日（火）学年保護者会（２年）
１５日（水）学年保護者会（１年）
２３日（木）生徒会選挙
２４日（金）終業式

今月の登校日で給食のない日
全学年：８日（水）22日（水）
23日（木）24日（金）

【4月の主な予定】
・7日（金）始業式・着任式・生徒会任命式
・10日（月）入学式・対面式
・11日（火）離任式・実力考査
・18日（金）全国学力学習状況調査（３年）
・20日（木）～22日（土）修学旅行（３年）

自分の事は自分で決める

３ 年生の卒業が間近だ。自分の将来の夢や希望を実現するために、進路選択を行い、自らの人生を切り拓こうとしている。

人が１日に何らかの「意思決定（決断）」をする回数は、１万回以上と言われている。「何を着るか？」といった日常的な決断から、大事な場面で「何をどう言うか」、職場や家庭で「何を優先して進めていくか」など自分が想像する以上に、今日を過ごすことは「決断」することを絶えず行い続けること、といっても過言ではない。

「決断」とは、何らかの問題や課題に対して、複数ある対応策のうち、意志を持って１つを選ぶことのことです。「決断」するということは、見方を変えれば、選択したもの以外は「切り捨てる」という意味になる。

なにが正解だったのか、なにが不正解だったのか。それは、自分自身の心の持ちような気がしないでもない。

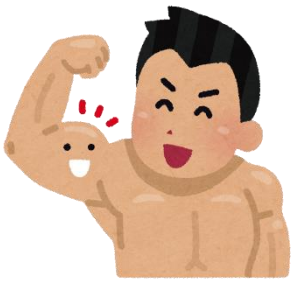
「もしかして、こうしていたら、こうなっていたかも」なんてことは、考え始めたら数万通り…そう、とんでもない数ほどあるはず。

だから、自分が選んで「決断」したことを、振り返ってもしょうがないし、選ぶことをいつまでも悩んでいてもしょうがない。

やるしかないし、やったことを反省し続けてもしょうがない。・・・なんてイズムが、確かに、自分の中にあることを、この時期になると毎度実感する。

こんな時、教師として駆け出しの頃、「反省はいらん。進むしかないんだ！」なんて、意気がって同僚と話しながら、傷ついた自分を鼓舞していた日々をふと思い出す。

大人になる。ということは、「自分のことは自分で決める」ということかもしれない。それがプレッシャーになることもあるが、自分で選択肢を見つけ、選べるからこそ、楽しいとも言えるはずだ。



何はともあれ、卒業生が自分で選んだ道を突き進むために、タフであってほしいと願っている。